

平成28年度事業報告

1 社会福祉法人杉の子

<経営理念>

社会福祉法人杉の子は、「社会福祉事業を通じて地域社会・住民、高齢者、利用者様ご家族にとって、なくてはならない存在であり続けるよう目指します。

<経営方針>

- 一、健全経営の実現に向けた財務指標を目指します。
- 一、サービス提供の質の向上に努めます。
- 一、決められた責任と権限の明確化を図ります。
- 一、働きがいのある職場環境を目指します。
- 一、地域社会との連携に努めます。

<施設運営理念（方針）>

- 一、利用者様ひとりひとりを大切にします。
- 一、生活の場を提供し、家庭的な雰囲気の中でサービスの利用をして頂けるよう努力します。
- 一、地域に開かれ、だれでも気軽にお越し頂けるようにします。
- 一、利用者様の尊厳を重視します。
- 一、どのようなサービスを利用したいか、利用者様の身になって考えサービス提供を行います。

<平成28年度理事会・評議員会・監事監査>

1) 監事監査の実施

平成28年5月12日（法人及び拠点の会計・業務監査）

2) 理事会の開催

第1回 平成28年5月22日

「議決事項」

第1号議案、平成27年度事業報告及び決算報告・監事監査報告

第2号議案、定款変更

第3号議案、経理規程変更

第4号議案、運営規程変更

第2回 平成28年11月13日

「議決事項」

第1号議案、平成28年度第1次補正予算

第2号議案、育児・介護休業規則変更

第3号議案、就業規則変更

第4号議案、運営規程変更

第3回 平成28年12月25日

「議案事項」

第1号議案、定款変更

第2号議案、評議員選任・解任委員会設置運営細則

第3号議案、評議員選任・解任委員の選任

第4号議案、次期評議員候補者推薦

第4回 平成29年2月12日

「議案事項」

第1号議案、評議員選任・解任委員会の招集について

第5回 平成29年3月26日

「議案事項」

第1号議案、平成28年度2次補正予算

第2号議案、平成29年度事業計画及び当初予算

第3号議案、就業規則変更

第4号議案、経理規程変更

3) 評議員会の開催

第1回 平成28年5月22日

「議決事項」

第1号議案、平成27年度事業報告及び決算報告・監事監査報告

第2号議案、定款変更

第3号議案、経理規程変更

第4号議案、運営規程変更

第2回 平成28年11月13日

「議決事項」

第1号議案、平成28年度第1次補正予算

第2号議案、育児・介護休業規則変更

第3号議案、就業規則変更

第4号議案、運営規程変更

第3回 平成29年3月26日

「議案事項」

第1号議案、平成28年度2次補正予算

第2号議案、平成29年度事業計画及び当初予算

第3号議案、就業規則変更

第4号議案、経理規程変更

4) 評議員選任・解任委員会の開催

「議案事項」

次期評議員の選任について

5) 定款変更認可

平成28年6月24日、所轄庁変更認可

平成29年1月30日、社会福祉法改正による定款変更認可

- ・資金計画

平成28年度は当初予算計画より収入・支出ともに下回ったが、前年対比では、一部の短期入所事業の運営休止によって収支差額は減少した。

- ・人材の確保

介護職員の離職によって人材不足が平成27年後半より続いてことから、業界就職求人活動に参加し積極的に活動したが、介護職の求職数が少なく改善には至らなかつた。

- ・社会福祉法人制度の改革

社会福祉法等の一部を改正する法律(案)が制定され、平成29年1月25日付で定款変更の認可を受けました。又平成28年度決算では、社会福祉充実残高はありませんでした。

平成28年度事業報告

2 片岡杉の子園

<施設全体>

「安全・安心」をモットーにして、職員の配置や業務内容の見直し、各委員会の活動を活発にすることで、より良い介護サービスの提供に努めました。

また、安全衛生委員会を中心に通常の健康診断に加えストレスチェックを実施し、産業医師の協力のもと職員の体調管理に努めました。

ショートステイに関しては、地域の皆様からの期待に応えられず職員不足により安定したサービス提供ができなかったことは大変残念です。

<ボランティアの状況>

平成28年度は下記の個人・団体の方にご協力いただきました。(順不同)

平井幸子様・山口和一郎様・佐藤ちえ様・久保田智恵子様・あじさいの会様
松琴会 水野しげ子様・新緑会 村田浩男様・中国文化会・足立真由美様・浅井和子様
榎三会 吉岡幸男様・あった会 門田愛次様・塚本英夫様・都の会
大石ユキエ様 シンガーソングライター SHIGEKI 様・しらゆりの会様・高橋七奈子様

<寄付者一覧>

平成28年度は下記の法人個人の方からご寄付をいただきました。(順不同)

山田清枝様・大石清志様・野中正志様・大石清吉様・村松三十里様・中村正美様
吉永京子様・小林紀子様片岡西町内会様・片岡区自治会長様・JAハイナン様・
島田法人会様

1 介護老人福祉施設

- ・ 体調変化に対し、早い段階で情報を他部署間で共有し予防や受診をすることができました。
- ・ 歯科医師の指示のもと歯科衛生士・介護士を中心になって毎日の口腔ケアや口腔体操を毎日続け、誤嚥性肺炎予防など利用者様の健康増進にもつなげています。
- ・ 少人数制の料理クラブを立ち上げて利用者様の楽しみとなるようなイベントを毎月実施することができました。
- ・ ほうじ茶ゼリーの提供により嚥下障害重度の方に対しても、おいしく安全な水分補給が可能となりました。
- ・ 居室内の気温湿度を毎日チェックし、気を配ることで、熱中症や寒さ対策を徹底し、風邪等の蔓延を防ぎ、快適な生活空間になるよう努めました。
- ・ ターミナルのご利用者様のご家族には、随時状態説明やご家族の希望になるべく沿う形で行うことができました。

2、短期入所介護

- ・ 4月～9月までは月に8日間営業、10月～2月は通常営業しましたが、介護職が補充できずに3月は一部営業になってしまいました。
- ・ 安全を第一に職員配置を厚くし、職員一丸になって事故のない業務に取り組みました。

3、通所介護

- ・ 今ある能力を維持しながら活用できるように、一人一人に合った個別計画を立てて支援しました。個別計画内容を全スタッフが周知するよう努力しました。
- ・ 利用者様のニーズを常に大切にし、誕生会を充実させ、慰問をこれまで以上に積極的に受け入れを行いサービスの向上に努めましたが、利用者様の増員に結びつきませんでした。
- ・ 内部研修を充実させて職員の専門的知識の向上に努めました。外部講師による福祉車両操作や運転の研修は新鮮でした。

4、地域密着認知症体応型通所介護

- ・ 目標稼働率を達成することができました。
- ・ 利用者様一人一人に対し丁寧な対応が行えました。
- ・ 内部研修の内容がマンネリ化してしまいました。職員が興味を持ち意識づけができる研修内容にしていきたい。
- ・ インフルエンザの感染がありました。利用者様の体調把握と管理をしっかり行い安心して利用できるサービスを提供していきたい。

5、居宅介護支援

- ・ 定期的な伝達会議を実施し、困難ケースに限らず個々に抱える課題解決に向けてチーム対応することができました。
- ・ 目標受入件数に近づくことはできませんでしたが、地域包括支援センターからの委託を含め、全ての相談依頼に対して常に積極的に受け入れをおこないました。

6、地域における取組「ふれあいの場 野いちご」

- ・ 毎月2回の開催（第1,3金曜日）
- ・ 毎回15人～20人の参加者が集まり、手芸や制作、体操、簡単なゲーム、吉田公園へ外出など楽しい時間を提供できました。
- ・ 特別支援学校6年生と一緒にゲームやクリスマス会などの行事を行い、年間を通して交流が続きました。

平成 28 年度 事業実績報告 (利用状況)

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム 片岡杉の子園)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人員	1428	1525	1443	1463	1518	1484	1497	1416	1516	1532	1393	1534
平均利用 /日	47.6	49.2	48.1	47.2	49.0	49.5	48.3	47.2	48.9	49.4	49.8	49.5

定員 50 名

1日当たり平均利用人員 47.7名 (前年度)
48.6名 (今年度)

短期入所生活介護(ショートステイ)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人員	54	52	52	51	57	78	174	164	178	218	163	65
平均利用 /日	1.8	1.6	1.7	1.6	1.8	2.6	5.6	5.4	5.7	7.0	5.8	2.0

定員 20 名

1日当たり平均利用人員 12.0名 (前年度)
3.5名 (今年度)

通所介護(デイサービス)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人員	379	395	460	451	493	451	410	404	408	365	379	390
平均利用 /日	14.5	15.1	17.6	17.3	18.2	17.3	15.7	15.5	15.6	15.2	15.8	14.4

定員 25 名

1日当たり平均利用人員 15.0名 (前年度)
16.0名 (今年度)

通所介護(ひまわりの家)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人員	215	236	231	219	234	233	220	230	203	185	196	217
平均利用 /日	10.2	10.7	10.5	10.4	10.1	10.5	10.4	10.4	9.2	9.2	9.8	9.4

定員 12 名

1日当たり平均利用人員 8.6名 (前年度)
10.1名 (今年度)

居宅介護支援事業

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護	57	59	57	56	58	56	52	52	57	54	50	55
予防	11	12	12	18	19	21	22	22	21	22	22	14

月平均 73.2 件 (予防含む)

平成 28年度 月別防災訓練実績表

吉田町デザインサービスまわりの家

月日	種別	訓練内容	避難場所	実施時間	利用者参加人数 (利用人数)	職員参加人数	感想・反省
4月11日	地震 火災	避難誘導	はあとふる	14:00～14:15	8	5	施設玄関へ誘導後、点呼と体調確認。 はあとふるまで徒歩で移動。 職員の指示に従ってスムーズに行動する。
5月9日	火災	避難誘導訓練 防災設備取扱い	愛宕神社	15:25～15:35	10	6	防災設備の取り扱いの確認。 天候雨。玄関内が少し込み合う。誘導にて玄関外（屋根下）へ移動。 所要時間5分。
6月15日	地震	避難誘導 (津波警報)	はあとふる	14:30～15:00	10 (11)	4	地震後に津波発生想定。 利用者の姿勢や動きを誘導しながらゆっくり行う。 玄関外へ一時避難、点呼と体調確認を行い、はあとふるへ移動する。
7月14日	火災	避難誘導	はあとふる	14:10～14:30	9 (10)	5	天候薄曇り。利用者体調不安により1人不参加。 利用者安全に屋外へ誘導。名簿の持ち出し携帯電話の持ち出しに手間取る。 はあとふるまで安全に歩く。はあとふる移動8名、待機1名
8月11日	火災	避難誘導	駐車場	14:20～14:30	8 (9)	4	体調不良1名不参加。玄関外へ移動。 公用車と玄関の距離が近く、ポストに当たりそうになる。注意が必要。
9月2日	地震 火災	避難誘導	愛宕神社	15:30～15:40	11	7	防災窓の開閉、初期消火をおこなう 的確に指示、誘導、安全に移動する。
10月19日	地震 津波	避難誘導	玄関	14:15～14:20	10	5	新人職員参加。防災頭巾5名着用なし。 玄関へ先に出ていく。職員にヘルメット着用を指示する。利用者が先に 外へでたため職員が慌てる。
11月29日	災害	避難誘導	玄関	14:05～14:15	11	5	利用者は落ち着いて避難できる。職員の防災窓の開閉に時間がかかる。 (ホワイトボードとソファが邪魔になる)
12月28日	火災	避難誘導	玄関	14:05～14:10	7	7	利用者全員参加。消火訓練、玄関への避難。 玄関付近で前に進まず詰まる。点呼スムーズ。はあとふるへ移動する。
1月10日	地震	避難誘導	片岡杉の子	14:25～14:55	7	5	施設内地震発生時の訓練。机の下に入れない利用者が混乱 する。車への乗車スムーズに行える。ヘルメット、防災頭巾の着用しつ かりと行える。
2月28日	火災	避難誘導	玄関	14:15～14:25	10	6	緊張感が足りない。全員参加、怪我なく玄関外に非難する。 初めての参加の利用者も落ち着いて避難できる
3月30日	火災	避難誘導	玄関	15:05～15:15	12	7	全員参加。手引き介助必要な利用者が半数を占めていたが 皆で協力し誘導することができた。

平成28年度 月別防災訓練実績表

特別養護老人ホーム片岡杉の子園
片岡杉の子園デイサービスセンター

月日	種別		訓練内容	訓練実施時間	参加人数		詳細・反省
	地震	火災			職員	利用者	
4月25日	○	○	新入職員の防災設備取扱 2階からの出火 避誘導訓練	14:00～14:30	12	35 特養 通所	排煙窓、防火扉の開閉を忘れた所があった。再度確認
5月30日	○	○	防災機器の取扱説明 2階からの出火 避誘導訓練	14:00～14:30	16	29 特養 通所	ヘルメットの点検を実施 2階の防災機器の説明を実施
6月30日	○	○	安否確認訓練 1階からの出火 消火避難訓練	14:00～14:30	全員	35 特養 通所	消火器による消火訓練実施 近隣住民役への指示が不十分
7月26日	○	○	職員出入口からの出火 避難誘導訓練	14:00～14:30	14	33 特養 通所	職員出入口喫煙所での適切な火の始末の徹底を周知
8月30日	○	○	安否確認訓練 階段の避誘導訓練	17:15 14:00～14:30	全員	0 特養 通所	階段避難訓練を職員と実習生で実施 チェック表の内容を変更
9月30日	○	○	警戒宣言発令 地震・火災発生	14:00～14:30	18	39 特養 通所	避難完了のサインの確認 トリアージの検討
10月17日	○	○	警戒宣言発令 地震・火災発生	14:00～14:30	23	41 特養短期 通所	地震後に火災発生
11月29日	○	○	安否確認訓練 通報訓練 1階から出火	10:00 14:00～14:30	全員	41 特養短期 通所	避難後の体調不良者の報告内容を検討 消防署職員が参加 訓練を見学し委員会に参 避難後の点呼の仕方を確認
12月27日	○	○	2階からの出火 避難誘導訓練	14:00～14:30	23	36 特養短期 通所	当日の訓練担当者への訓練内容の確認及び、訓練後の反省意見や指導を実施
1月31日	○	○	安否確認訓練	17:15	全員	0 特養短期 通所	体調不良者が多いため無理をしないで、職員による安否確認のみ実施
2月23日	○	○	2階からの出火 避誘導訓練	14:00～14:30	25	38 特養短期 通所	担当者から大きな声が出ていて緊張感を発 持って訓練できた。排煙窓の故障箇所を発 見
3月30日	○	○	2階からの出火 避誘導訓練	14:00～14:30	21	30 特養 通所	避難経路の安全確保について確認。当日の 担当職員によっては委員が付き添い訓練が 必要
<p>防災委員会の反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の体調や職員配置不十分の場合は安全第一に考え、利用者様不参加の訓練とした。 ・消防職員参加の訓練を年に1回実施している。質問への回答やご指導をいただいた。 ・月1回の訓練では訓練参加が不十分な職員もいるため、今後も繰り返し返しの訓練が必要。 ・夜間想定訓練が十分に実施できなかった。 							

平成28年度 事業報告

3 中央本町杉の子園

<施設全体>

法人の運営理念、経営理念に添って事業を推進し、利用者様の心身の状況等に応じて、常にサービスを受ける方の立場にたった適切な介護サービスの提供に努めました。

早期から感染予防対策に努め、感染症の発生・蔓延を防止することができました。また、重点目標に掲げた人材育成については、人材不足により思うように職員を外部研修に参加させることができませんでした。

ボランティアの状況

平成28年度は、下記名の個人・団体の方にご協力いただきました。

吉池 節子様、落合 美智子様、田原 次子様、山口 あや子様、
山本 恵美子様、尾山 とも子様、藤塚 千代子様、松木 寿子様、
神田 美代様、坂口 利恵子様、バイオレカ様、ひまわり様、
ハーモニー梅田様

(順不同)

寄付者一覧表

平成28年度は、下記の個人・団体の方からご寄付を頂きました。

中央本町4丁目町会、中央本町4丁目婦人部、中央本町5丁目町会、
五反野スカイハイツ自治会、花井 和子様、小松 裕子様、

(順不同)

1 介護老人福祉施設

- ・ケアプランの達成と個別ケアの統一を掲げ、多職種参加によるディスカッションの場を多く持ち、利用者様それぞれの自立支援を実現出来るように努力しました。
- ・口腔ケア委員会を中心に「食べられる口を作ろうプロジェクト」を立ち上げ、利用者様の嚥下機能向上に取り組みました。
- ・「ヒヤリハット提出、毎月100枚」をほぼ達成し、リスク委員会では「起こりうる事故」を検討し周知させる事で、事故予防に努めました。
- ・感染委員を中心に早期からの湿度調整・手洗い・換気を呼びかけ、園内感染ゼロを達成しました。
- ・「手作りおやつ」や「おやつバイキング」等、管理栄養士と栄養委員が中心

となり計画し「楽しい食事」を実現する機会が多く持てました。

2 短期入所生活介護

- ・利用者様、ご家族、介護者に対して、利用に関する契約内容を記載した契約書等の説明を行い、これを理解の上、安心してご利用して頂けるように取り組みました。
- ・利用者様の心身の状態を把握し、万一ご利用中に状態変化があった場合は、速やかにご家族へ連絡し、迅速な対応をさせていただきました。
- ・毎回の送迎を相談員が対応する事により、施設でのご様子をご家族、介護者により詳しくお伝えできるようにしました。
- ・季節行事等の園内活動にもご参加いただき、社会的交流の中で楽しみを見つけていただく事ができました。
- ・区内の居宅事業所への訪問や短期入所独自のパンフレットを作成し、利用率向上に努めました。
- ・高齢者虐待等により保護を必要とする緊急ショートステイの受け入れを積極的に行いました。

3 通所介護

- ・利用者様、ご家族様に対して、利用に関する契約内容を記載した契約書等の説明を行い、安心してご利用して頂けるように取り組みました。
- ・ご家族や介護支援専門員との連絡を密にとり、利用者様に合った通所介護計画書を作成、説明し、実施できるよう努めました。
- ・利用者様から要望を伺い、一年間の大きな行事や毎日の活動をより一層充実させ、一日を楽しくお過ごし頂けるよう取り組みました。
- ・朝と帰りの送迎時や園外活動等の車の運転には充分注意し、安心してご乗車いただけるよう安全運転で対応させて頂きました。
- ・利用者様個々の身体状況を踏まえて、自立支援の介助や個別機能訓練を充実させ、在宅生活を継続できるように支援させて頂きました。

4 訪問介護

- ・高齢者の皆様が住み慣れた地域の中で、安心、自分らしい在宅生活を維持、継続出来るよう介護・福祉・医療の専門職や地域包括、福祉事務所などの関係機関と連携を密にとりながらご利用者様の自立支援を実現するサービス提供を行いました。
- ・ご利用者への質の高いサービスを継続的に実現させるために、定期的にヘルパー研修を行い介護技術の習得及び質の向上、平均化を目指し訪問介護

員全体のスキルアップに努めました。

- ・ 苦情、要望の受付をサービス向上、改善の絶好な機会と位置付け、苦情、要望に関わる相談の受理後、組織全体で連携を密にしつつ、迅速にかつ丁寧に対応しました。

5 居宅介護支援事業

- ・ 利用者様、ご家族はもとより、事業所・行政・地域から信頼される事業所をめざし、中立・公平な立場で利用して頂ける様努めました。
- ・ 地域包括ケアシステムの充実により、介護保険の基本的理念、自立支援を観点に利用者様が安心して在宅生活が営めるよう医療・介護・他職種が協働、役割分担を明確に連携を強化しました。
- ・ 要介護者と認定された利用者様には、アセスメントからその方のニーズに応えられる居宅サービス計画書を作成しました。
- ・ 居宅サービス計画が適正であるか、サービス担当者会議を通じて利用者様・ご家族、及び介護者からのご意見を戴き、サービス事業者からの情報収集に努めました。
- ・ 利用者様、ご家族の苦情はサービス改善に発展させていくために、情報収集し、利用者様、ご家族の立場にたち、迅速な対応に努めました。
- ・ 介護支援専門員として、職種の専門性を高めるため、区や都の研修には積極的に参加し、研鑽に努めました。

6 地域包括支援センター

- ・ 地域包括ケアシステム構築を担う公的な総合相談窓口として、地域の皆様、専門機関、行政と協力しつつ、医療保健・介護・福祉を中心とした相談支援を実施しました。
- ・ 年々、増加傾向にある高齢者虐待ケースや複合問題ケース等の処遇困難ケース対応、成年後見申し立て支援、消費者被害支援等、高齢者に対する権利擁護の取り組みを多職種と連携をし、すすめました。
- ・ 平成28年度より開始された介護予防日常生活支援総合事業の周知、充実化を行政と協力しつつ取り組みました。また地域での健康づくり、地域・家庭での安心のできる介護づくりの観点から、介護予防教室や家族介護者教室など各種教室を定期的に開催しました。

平成 28 年度 事業実績報告 (利用状況)

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム 中央本町杉の子園)

定員 60 名

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人員	60	60	60	60	60	59	60	58	55	57	60	60
1日当たり平均 利用人員	56.9	58.2	57.1	58.3	56.3	58.0	57.7	53.9	51.8	53.0	55.7	56.1

1日当たり平均利用人員 55.9名 (前年度)

1日当たり平均利用人員 56.1名 (今年度)

短期入所生活介護・予防(ショートステイ)

定員 10 名

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人員	43	40	41	38	37	40	38	40	40	38	36	40
1日当たり平均 利用人員	12.7	11.3	13.0	11.9	12.2	11.6	11.3	12.3	13.0	13.1	12.8	12.9

1日当たり平均利用人員 13.1名 (前年度)

1日当たり平均利用人員 12.3名 (今年度)

通所介護・予防(デイサービス)

定員 30 名

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人員	89	92	90	87	88	86	85	79	81	80	82	82
1日当たり平均 利用人員	24.0	24.5	24.8	24.4	24.6	24.1	21.8	21.3	21.3	22.8	23.0	22.6

1日当たり平均利用人員 24.3名 (前年度)

1日当たり平均利用人員 23.3名 (今年度)

居宅介護支援事業

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護	94	98	98	98	96	98	100	100	100	94	92	92
予防	29	28	27	27	28	27	25	25	27	24	28	27

地域包括支援センター

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合相談 件数	271	205	198	178	325	348	246	169	175	184	192	246
予防給付 プラン作成	193	189	190	184	186	186	178	187	170	173	175	178
介護者教室 等開催数	1	2	3	3	1	4	4	7	4	1	3	4
1日当たり平均 相談件数	10.8	9.4	7.6	7.1	12.5	14.5	9.8	7.0	6.7	8	8.3	9.5

訪問介護(ヘルパーステーション)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人員	35	38	38	38	38	43	43	42	42	43	41	46
1日当たり平均 利用人員	16.0	17.7	17.8	17.1	17.8	18.0	19.2	18.9	18.0	18.3	19.4	21.2

1日当たり平均利用人員 15.7名 (前年度)

1日当たり平均利用人員 18.3名 (今年度)

月	種別	訓練内容		時間	参加人数		計画作成担当	訓練実施結果
		地震	火災		職員	利用者その他		
予定	○	総合訓練	夜間想定	PM 2:30~PM 3:00	4	70	特養	夜間想定訓練 焦ることなく、各階連携回り、他階状況によってはヘルプに行く事も可能 避難者名簿は各階にあった方がよい
実績	○	総合訓練 通報伝達訓練(災害対策メール)	日中想定	PM 2:30~PM 3:00	13	67	特養	日中地震想定訓練 職員の数も多く、各手に分かれ、破損箇所利用者安全確保等、迅速に行う事が出来る様になっているが、階によっては初動対応流れが把握できていない。
予定	○	総合訓練 建物等の自主点検	日中想定	AM10:30~AM11:00	13	77	特養	日中火災想定訓練 火元近く利用者様から避難誘導、初期消火完了後は2次災害備え安全に利用者様誘導を行うが、手順書が細かく見づらいため意見あり 簡素化し見やすくする必要がある
実績	○	総合訓練 応急救護訓練	日中想定	PM 2:30~PM 3:00	13	69	特養	日中地震想定訓練 各階リーダーがシミュレーションを行いPHS使用し2階報告 2階リーダーから事務所報告とした。その為、スムーズに行えたトイレに行かれる利用者様対応が難しいと言
予定	○	総合訓練	夜間想定	AM10:30~AM 11:00	4	69	特養	夜間地震想定訓練 職員が少ない為連携して行動する事。出火場所を把握し初期消火の取り組みも大事。事前にシミュレーションすることで動きの確認も必要
実績	○	火災想定訓練 消防用設備・建物等自主点検	日中想定	AM10:30~AM11:00	20	68	特養	火災報知機誤作動の対応について 訓練をしながら行う。マニュアルに沿っておこない 複合火災受信機でどの箇所が点滅しているかを確認、記録に残し復旧作業を行う。(消防署員
予定	○	総合訓練	日中想定	AM10:30~AM11:00	11	68	特養	日中地震想定訓練 まだ、短期利用されていない方のネームが貼り出されており現状が分からない状態になった。チェックすると時間記入欄がなかったため最終報告時間追加する
実績	○	総合訓練 通報伝達訓練(災害対策メール)	夜間想定	AM10:30~AM11:00	4	70	特養	夜間地震想定訓練 安全確認、2階リーダーへの報告はスムーズに出来た。訓練はどこに重点分野が大事 もう少しチェック外、マニュアルの検討が必要
予定	○	総合訓練 総合訓練(足立消防署協力) 建物等の自主点検	夜間想定	AM10:00~AM11:00	4	70	特養	夜間火災想定訓練 リネン庫から火災発生想定した訓練開始。初期消火について再度一連の流れを確認しながら行う
実績	○	総合訓練	日中想定	PM 2:30~PM 3:00	8	62	特養	日中地震想定訓練 チェックリスト見直しにより、よりスムーズに訓練内容や流れが解り易く良かったと意見あり 時間の記入欄がなかったため修正します
予定	○	総合訓練 通報伝達訓練(災害対策メール)	日中想定	PM 2:30~PM 3:00	9	66	特養	日中地震想定 食堂窓ガラスの飛散防止ためカーテン開める様職員に統一したい。ドアロック解除の際対応、自身の身の安全を図っていない職員に対し指導する
実績	○	火災想定訓練 消防用設備・建物等自主点検	夜間想定	PM 2:00~PM 3:00	4	69	特養	火災報知機の警報作動時対応訓練を行う。警報作動訓練未経験者もおり 実際参加され、一連の流れを知ることができ良かった。実際に起こりうる可能性が高いため今回の訓練は充実した。
			備考	状況により訓練内容・時間を変更する場合がある。				

平成28年度 事業報告

4 住吉杉の子園

<施設全体>

平成28年度は、職員の採用確保を最重要の目標に掲げ事業を行いました。就職セミナーへの積極的な参加やネット環境を使った求職活動を行い実行した結果、採用者が決まり新年度を迎える事が出来ました。

また、志太榛原地区施設長連絡会の当番施設となり、施設全体で準備し取り組み無事に役割を終える事が出来ました。

職員の不足の問題や大きな施設行事を職員の相互の協力で乗り切る事が出来た1年となりました。

<ボランティア状況>

平成28年度は下記の個人・団体の方にご協力いただきました。(順不同)

鈴木美津子・岡田智行・吉田光美・月丘さくら・清流館高等学校ダンス部
北川正人・水野しげ子・山村章文・藁科繁子・鈴木四郎・佐々木恵美子
足立真由美・櫻井章司・ちどり幼稚園・鈴木静雄・桑原英實・五木真理子
池谷久治・はいばら太鼓保存会・山本恭江・桐山洋子・藤波保・前田俊子
榛原高等学校吹奏楽部・清流館高等学校コーラス部・川崎幼稚園

<寄付者一覧>

平成28年度は下記の個人・団体の方からご寄付をいただきました。(順不同)

住吉地区民生児童委員・宮本よし・良知せつ子・住吉地区婦人部
住吉区自治会・山八町内会・太向勝男・大石春雄・三浦登志子

1) 介護老人福祉施設

- ・ 介護マニュアルについて職員が意識する為の取り組みを行いました。
- ・ 余暇活動の充実のために、前年度から行っている。介護士の1年1企画行事を今年度は2企画に増やし、入居者様の生活の張りが出る活動を行いました。
- ・ 9月に「看取りについて」をテーマとして家族会を行う事ができました。施設で行っている看取りについて知って頂く機会となり、さらに家族の思い知る機会になりました。
- ・ 医療的ケア委員会を立ち上げ、口腔内吸引等の研修の機会を作る事ができました。さらに、鼻腔内吸引の出来る事業所登録を目指し、マニュアル作成などの整理をして、事業所登録を行いました。

2) 短期入所生活介護

- ・ 余暇活動充実の為、介護士の1年2企画を実行しました。
- ・ お正月の生け花教室を行うなど、新たな行事にも挑戦致しました。
- ・ 特養入居者が行っている健康体操にも積極的に声掛けをして、生活が単調にならない工夫をしました。
- ・ 医療行為のある利用者様など、職種間の連携をとりながら受け入れる努力をしました。

3) 通所介護

- ・ 事業所の様子をPRする活動の一環で、デイ新聞の発行やホームページを活用しました。敬老会の演芸を動画サイトに投稿するなど新たな試みもありました。
- ・ ふれあい広場や吉田町の文化祭に利用者様の作品展示を行い、事業所のPR活動を行いました。
- ・ 職員の質向上の一環で、外部研修への参加の機会を設け多くの職員が参加しました。

平成 28 年度 事業実績報告 (利用状況)

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム 住吉杉の子園)

定員 50 名

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人員	50	50	50	51	50	50	49	49	50	51	51	50
1日当たり平均 利用人員	49.5	48.5	49.3	49.2	48.6	49.3	48.5	48.3	48.8	49.4	47.3	48.8

1日当たり平均利用人員 49.1名 (前年度)

1日当たり平均利用人員 48.8名 (今年度)

短期入所生活介護(ショートステイ)

定員 20 名

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人員	72	75	69	71	72	68	73	66	57	61	57	63
1日当たり平均 利用人員	14.4	14.9	14.2	12.9	13.5	13.0	13.2	12.0	11.3	11.9	10.8	11.0

1日当たり平均利用人員 15.3名 (前年度)

1日当たり平均利用人員 12.8名 (今年度)

通所介護(デイサービス)

定員 30 名

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人員	57	58	59	60	56	57	57	55	54	55	56	56
1日当たり平均 利用人員	22.8	22.2	23.2	21.6	20.2	20.9	20.8	20.5	19.7	19.6	19.2	19.0

1日当たり平均利用人員 22.0名 (前年度)

1日当たり平均利用人員 20.8名 (今年度)

月	種別		訓練内容	時間	参加人数			備考
	地震	火災			安否	職員	利用者	
(4・19)		○	避難誘導訓練/安否メール (火災想定)	AM10:00～AM11:00	長3短1 通3	長0短0 通0	宿直	防災用品の点検のみ実施
(5・17)	○		避難誘導訓練/安否メール (地震想定)	AM10:00～AM11:00	長3短1 通3	長・短 通	宿直 1	職員不足のため職員間で 非難誘導内容の確認のみ 実施
(6・21)		○	避難誘導訓練/安否メール (火災想定)	AM10:00～AM11:00	長3短1 通3	長41短7 通18	宿直 1	
(7・19)	○		避難誘導訓練/安否メール (地震想定)	AM10:00～AM11:00	長3短1 通3	長27短7 通11	宿直 1	ライフジャケットを装着し3階へ 非難誘導。3階職員不足のため 中止
(8・16)		○	避難誘導訓練/安否メール (火災想定)	AM10:00～AM11:00	長0短0 通0	長0短0 通0	宿直 1	中止
(9・2)	○		総合防災訓練 (火災地震想定) 安否メー	AM10:00～AM11:00	長4短1 通3	長36短11 通7	宿直 1	ライフジャケットを装着し3 階へ非難誘導。 防災用品点検。
(10・18)		○	避難誘導訓練/安否メール (火災想定)	AM10:00～AM11:00	長4短0 通3	長24短0 通13	宿直 1	1、2階職員不足で中止
(11・11)	○		総合防災訓練 (火災地震想定) 安否メー	AM10:00～AM11:00	長5短1 通3	長34短4 通12	宿直 1	ライフジャケットを装 着し3階へ非難誘導
(12・20)		○	避難誘導訓練/安否メール (地震想定)	AM10:00～AM11:00	長3短1 通3	長38短5 通12	宿直 1	ライフジャケットを装 着し3階へ非難誘導
(1・17)		○	避難誘導訓練/安否メール (火災想定)	AM10:00～AM11:00	長0短0 通0	長0短0 通0	宿直 1	職員不足のため訓練は中止。新居 の住民者に夜間地区の役割を説明 しながら実際に動きを確認する
(2・21)	○		避難誘導訓練/安否メール (地震想定)	AM10:00～AM11:00	長0短0 通0	長50短20 通0	宿直 1	職員インフルエンザ 発生のため中止
(3・21)		○	避難誘導訓練/安否メール (火災想定)	AM10:00～AM11:00	長0短0 通0	長50短20 通0	宿直 1	利用者様インフルエンザ 発生のため中止
備考				状況により訓練内容、時間等を変更する場合がある。				

平成28年度 事業報告

5 杉の子介護初任者研修事業

2年目を向かえた初任者研修事業について、吉田町に対して積極的な働き掛けを行いました。広報よしだへの案内の掲載と吉田町の保健師さんの講師派遣をして頂く事になり、法人で取り組むについて理解して頂ける結果となりました。

第1回 平成28年5月7日から平成27年7月30日 中止

申込者 5名

第2回 平成28年9月3日から平成28年12月10日 開催

受講生 8名